



三角比の性質の確認

◇ $\theta \pm 90^\circ \times n$ の三角比として考えると...

- ①三角比部分
- n : 偶数 \Rightarrow 不変 (sin \rightarrow sin, cos \rightarrow cos, tan \rightarrow tan)
 - n : 奇数 \Rightarrow 変化 (sin \rightarrow cos, cos \rightarrow sin, tan $\rightarrow \frac{1}{\tan}$)

- ②符号 角度がどこの象限にあるかを調べ、その符号を適用させる。
 θ などの文字を含んでいる場合は θ を第1象限の角 (30° など) と仮定して元の三角関数に代入し、 $30^\circ \pm 90^\circ \times n$ がどこの象限にあるかを調べ、その符号を適用させる。

例) $\sin 160^\circ = \sin(70^\circ + 90^\circ) = \sin(70^\circ + 90^\circ \times 1) = \cos 70^\circ$ ×1なので変化、 160° は第2象限にあり $\sin 160^\circ$ は+になるので符号は+

$\cos 250^\circ = \cos(70^\circ + 180^\circ) = \cos(70^\circ + 90^\circ \times 2) = -\cos 70^\circ$ ×2なので不変、 250° は第3象限にあり $\cos 250^\circ$ は-になるので符号は-

$\tan 340^\circ = \tan(70^\circ + 270^\circ) = \tan(70^\circ + 90^\circ \times 3) = -\frac{1}{\tan 70^\circ}$ ×3なので変化、 340° は第4象限にあり $\tan 340^\circ$ は-になるので符号は-

$\cos(\theta + 270^\circ) = \cos(\theta + 90^\circ \times 3) = -\sin \theta$ ×3なので変化、 $\theta + 270^\circ$ なので $\theta = 30^\circ$ と仮定すると $30^\circ + 270^\circ = 300^\circ$ は第4象限にあり $\cos 300^\circ$ は+になるので符号は+

◇ 角 θ の動径と単位円の交点を $P(a, b)$ とすると $\cos \theta = a$, $\sin \theta = b$, $\tan \theta = \frac{b}{a}$

